

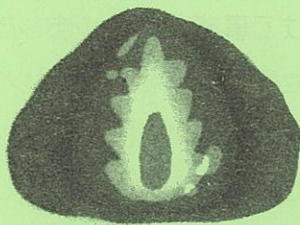


「第1回 はたどの祭り」でお披露目した いちご大福レシピ

農業
振興部会

3/15に予定していた「いちご大福作り」は残念ながら中止になりましたが、せめてレシピだけでもお伝えできればと思い掲載しました。このレシピは記念すべき「第1回はたどの祭り」でお披露目した神戸の浅井さん（現会長の知人）のレシピです。ぜひ、ご家庭で作ってみてくださいね。

※2回目以降のはたどの祭りでは魚見町のグループがいちご大福作りを担当してくれています。今回のレシピとは若干異なるようですので、次回以降また広報の掲載スペースが許す限りそのレシピも掲載したいと思います。



〈作り方〉

1. いちごのヘタをとり、白あんで包む。

※いちごの軸は全部とるといちごから水が出てくるので、短く切るだけにします。

2. 白玉粉、さとう、水を電子レンジで使用できる容器に入れて混ぜる。

3. 電子レンジで3分加熱する。

※周りがうっすらと固く、中心はどろどろの状態です。

4. 電子レンジから取り出して、均一に混ぜる。

〈材料〉

- ・いちご....18個
- ・砂糖.....150g
- ・白あん...450g
- ・水.....270cc
- ・白玉粉...150g
- ・片栗粉....適量

5. 電子レンジで再び3分加熱し、取り出してもう一度よく練る。

6. 手順「5」で出来た生地を片栗粉をひいたバットにあける。

7. 18個分に生地をわけて、手順「1」のいちごとあんを包む。

※生地が硬くなり包みにくくなったら、もう一度電子レンジで加熱するとやわらかくなります。

はたどのまちづくりだより に情報をお寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿まちづくり協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として、年2~3回発行の予定です。
(都合により変更する場合があります)

機殿まちづくり協議会の事業、各部会の事業のお知らせ、活動報告など、情報提供には参考資料としてチラシや要項、活動内容がわかる写真データなども添えてご提出いただくと助かります。



情報提供は
コチラまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区
市民センター内「広報編集委員会」まで。

TEL : 0598-59-0351

はたどの まちづくりだより

機殿まちづくり協議会 会報

第34号

2020.4.1 発行

発行:機殿まちづくり協議会 広報編集委員会

TEL:0598-59-0351

今後の機殿!

まちづくり
協議会

機殿まちづくり協議会:会長 横井富夫

この広報が発刊した時、新型コロナウイルスがいかになっているでしょう。

経済の減退で消費税が0%!?

さて本題。住民協議会、自治会の一本化の問題は1年伸びて令和3年4月から住民協議会の中に全ての組織が加入となり一本化します。

25年前に自治会長に就任した時と今とでは現状が全て激変しています。

今、難しい時代に入っていると痛感しています。私が皆さまにお願いしたいことは機殿を“活力のある共生の地域”としていただくことなんです。

時代の流れもありますが変わらず維持してほしいのは上記です。



皆さんもこれからの地域に変化が生じると時々感じていると思います。

言葉は悪いですが、その地域を生かすも殺すも皆さま次第です。

どうか、理想ですが新しい活力と魅力に溢れた地域にするため、可能な限り全ての組織の事業などに参画してやって下さい。皆さまの“心と気”次第です。

今年一年、皆さまからご支援ご協力をいただき本当にありがとうございました。

※執筆者の希望により最小限の編集で原文を掲載しています



日頃からの備えと冷静な行動を

安全部会

今年度の安全部会は、防災訓練・研修講演事業をメインに取り組みました。8月、9月に三重大学で行われた「自主防災組織リーダー研修」に参加し、防災についての基礎知識や災害時の組織運営について学びました。他にも市の防災対策課との打ち合わせや役員会、部会などで事前準備を進め、10月20日に地区防災訓練と講演事業を行いました。

この時アンケートも実施して地域の声を聞き取りました。中には厳しい意見もありますが、真摯に受け止め次年度以降の事業に反映させていきたいと思えます。

近年では国内各地で豪雨や台風などにより河川が氾濫し、甚大な被害が出ています。

櫛田川や祓川などの河川に近いこの地域でも、いつ同様の事態に見舞われるかも知れません。水害だけに限らず東南海地震などへの備えとしても防災訓練は必要です。いざという時に備え、防災への知識を得て、いつでも冷静に行動に移せる準備を心がけましょう。



今年度事業

“食”を通じて環境に意識を巡らす

環境・エコ推進部会

環境・エコ推進部会では4月の「種まき」から12月「販売」まで小学5年生（8名）による、米づくり体験事業を実施してきました。

機殿地区は大半農家です。しかし子ども達は家で田植え、稲刈りなど手伝いすることもほとんどなくなってきました。

5年生のみなさんは、大自然の中で素足で田植え、足踏み脱穀機で収穫、12月のはたどの祭りでは自分たちで作ったお米の販売など、大変だったけど収穫、販売の喜びも体験してもらいました。

私たちの日常生活を支えているのは「食」です。食の働きには3つあり、1：生命を維持し、2：健康を増し、3：心身の力を盛んにする、と言われています。

その尊い「食物」を作る作業を子ども達、部会員の皆さんと共有できたことを嬉しく思っております。

ご協力ありがとうございました。

の振り返り

“農”のブランド化を目指して

農業振興部会

農業振興部会では、今年度は上期と下期に分けて事業を実施しました。

上期では6月9日にサツマイモの植え付け、9月14日、15日にはジャガイモとキャベツなどの植え付けを行いました。

下期には11月9日にサツマイモの収穫、12月8日にジャガイモ、キャベツなどを収穫し

ました。収穫した農作物は12月22日の「はたどの祭り」で販売しました。

他にも7月20日の「納涼祭り」や、「はたどの祭り」に出店して焼きそばの販売も行いました。

ただ、残念だったのは、現在も多くのイベント中止などの自粛が続く新型コロナウイルスの影響で3月15日に予定していた「いちご大福作り」が中止になったことです。イベント中止は非常に残念ですが、この地域の「農」の魅力を広くPRし、将来的にはブランド化につながることを期待しています。

いちご大福のレシピを裏面に掲載しました！ご家庭で作ってみてくださいね。



福祉は地域の声を聞くことから

健康福祉部会

今年度の健康福祉部会では、大きく3つの事業を開催しました。

8月24日に「朝からしっかり！ バランスごはん」と題して健康講座を開催しました。この事業は機殿公民館女性部との共催で、市の健康センター「はるる」から職員さんを招いて実施しました。

9月から10月にかけて実施した「集落座談会」では「私の健康の秘訣（運動編）」をテ-

マにワークショップを実施して地域の声を聞きました。

12月22日の「はたどの祭り」の催しのひとつとして「健康・歴史ウォーキング」も実施しました。今年は小学校から上機殿までのルートを歩き、この地域の偉人である「藤八翁」や、伊勢神宮に麻を納める「上機殿（神麻続機殿神社：かんおみはたどのじんじゃ）」についての解説もありました。

他にも公民館祭りにブースを構えたり、市の発行する「健康なまちづくり活動事例集」にも記事を掲載してこの地域の健康福祉部会の取り組みをPRしました。